みどりネット通信

第３号
２００７年１２月１日
発行
上風連みどりネットワーク
編集　事務局

開南の森観察会

造成中の開南観察路・開南の森で、小学生が観察会を二回行いました。三年生から六年生までが総合的な学習の時間として勉強しました。

一回目の九月二十五日はあいにくの天気でしたが「農業・農村情報誌コンファ」の取材が来て、小学生は「わくわくコンファ探検隊」になり三班に分かれ観察しました。講師の森づくりセンターの佐々木さんと根室支庁の佐々木さんがオリエンテーリングのようなゲームを作ってきてくれていたので、楽しい活動になりそうでしたが、激しい雷雨のため少しの時間しか観察できず、とても残念でした。

ホウの木についた実を見上げる小学生

わくわくコンファ探検隊

二回目の十月十一日は、天気にも恵まれ、ゆっくりと観察することができました。いろいろな木の実と葉を拾い、何の木なのかを調べました。講師の笠原さんと山村さんの話を真剣に聞きながら、ドングリや松ぼっくりなどを拾い、派手な色のキノコなどを見つけては歓声を上げ、楽しそうに活動していました。

コンファの取材

どんぐり畑

十一月二十日、小学校一年生～四年生のみなさんが保育園南側のどんぐり畑にどんぐりを植えてくれました。

昨年植えたどんぐりは畑の奥に移植し、新たに耕しビニールを引いて畑をつくりました。

当日は、風が強く曇っていて、とても寒かったのですが、風蓮湖流入河川連絡協議会会長の安部さんのお話をよく聞いて一粒ひと粒丁寧に植えてくれました。

ザリガニ探検隊

ニホンザリガニがいるという噂を聞きつけ、十一月十五日に風蓮川の支流（森田雄二さん宅裏の沢）に行ってきました。風蓮川に生息する生物の状況を把握するためです。

胴付き長靴を履いて川に入り、つきん棒でバシャバシャつきながら網に追い込みます。上と中段の写真の他、カエルやヤゴなどたくさんの生物を見つけることができました。ニホンザリガニは時期が遅かったせいか冬眠しているようでした。残念…。

ヤツメウナギ

ゲンゴロウとカワエビ

トゲウオ

ザリガニ捜索中

編集後記

ザリガニ探検についてい行きました。ザックザク進んでいく三人についていけないだけでなく、ぬかるみに左足の付け根まではまってドロドロになり、心配までかけるあまりにも不甲斐ない自分に、情けないやら面白いやらで、ずっとクスクス笑いが止まりませんでした…（笑）。

こんな私ですが、これからもよろしくお願いします…。

防風林を美しく

六月から九月にかけて、各地区で防風林の維持作業を行いました。草刈りや枝払いなど、防風林の近辺をきれいにしてくれました。

作業の日はいつもいつも暑い日で大変だったと思います。お疲れ様でした。

中央

開南

東部

南矢